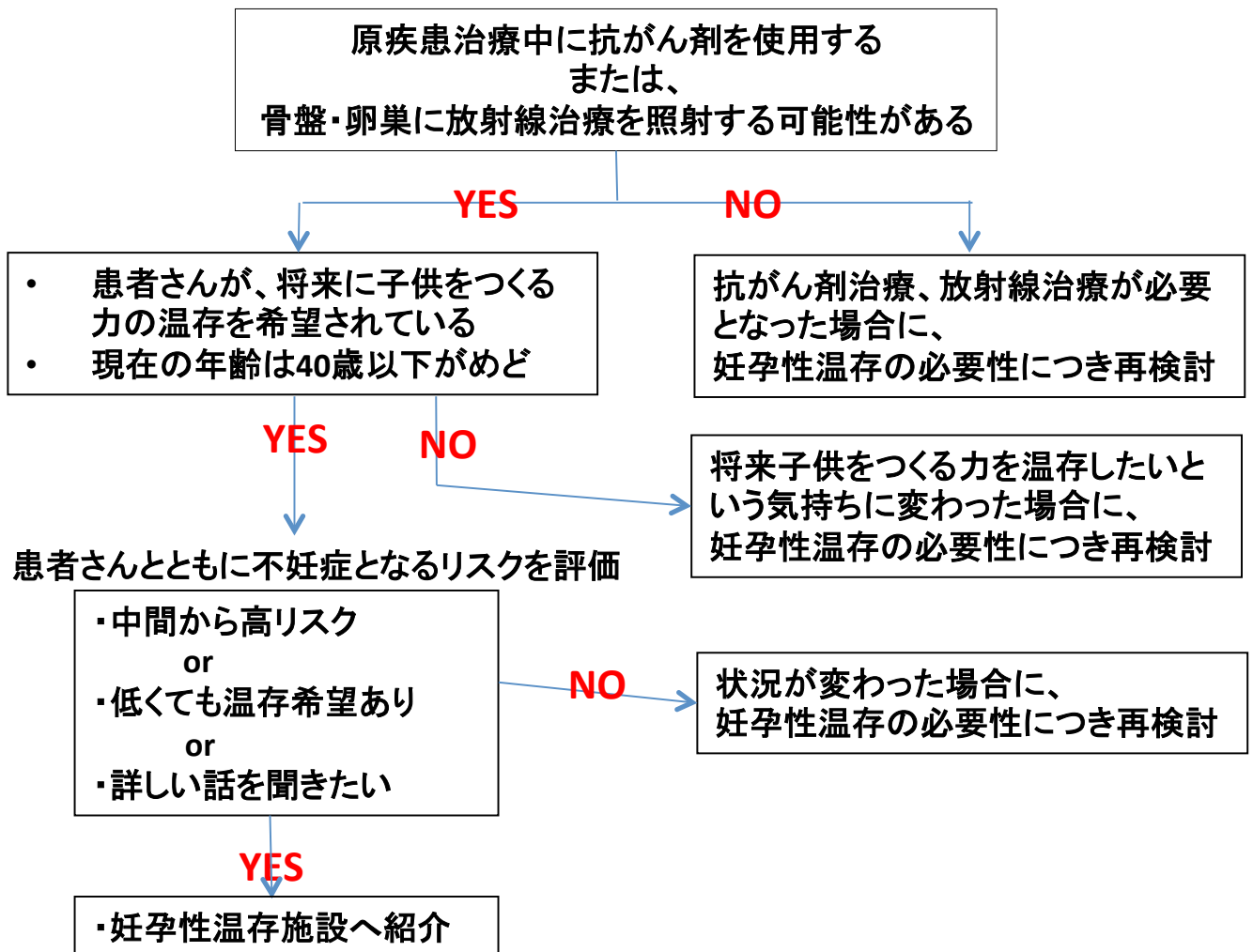


# 女性患者さんの妊孕性温存のためのアルゴリズム (特に卵巣機能に障害をもたらすと予想される場合)



患者さんの状況によりご紹介施設を考慮ください  
下記のようにおすすめします

- ①原疾患治療までに比較的時間の余裕があり、受精卵や未受精卵凍結が適切と考えられる  
⇒卵子凍結が可能な妊孕性温存施設
- ②全身状態がよくない  
⇒総合病院の妊孕性温存が可能な施設
- ③どの治療を選択したらよいかわからない  
⇒複数の妊孕性温存が可能な施設
- ④時間をかけて相談・説明して欲しい  
⇒複数の妊孕性温存が可能な施設・  
がん・生殖医療の特殊外来を併設している施設  
(滋賀の場合は、滋賀医科大学医学部附属病院  
母子女性診療科にがん・妊孕外来があります。  
患者さんへ説明後に、適切な妊孕性温存施設を相談いたします)



20150831